

第3回 鳴門市地域公共交通活性化協議会

議事録

日時：令和4年11月28日（月）10:00～11:00

場所：うずしお会館2階 第1会議室

出席者名簿

【敬称略】

所属	氏名	区分	備考
徳島県東部県土整備局鳴門庁舎副局長	秋田 裕二	道路管理者 港湾管理者	監事
徳島バス（株）営業部副部長	東 孝行	公共交通事業者等	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	賀出 晴美	その他鳴門市が必要と認める者	
鳴門市幼小中PTA連合会長	樺山 賢太郎	公共交通利用者	欠席
国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所徳島国道出張所長	萱原 一朗	道路管理者 港湾管理者	欠席
鳴門市政策監	小泉 憲司	鳴門市	
徳島県鳴門警察署交通課長	住友 貴志	公安委員会	
鳴門市副市長	谷 重幸	鳴門市	会長
鳴門市自治振興連合会監事	田村 豊	公共交通利用者	
徳島県タクシー協会（鳴門第一タクシー（有）取締役）	長尾 春代	公共交通事業者等	
（一社）徳島県バス協会専務理事	長谷部 一喜	公共交通事業者等	
鳴門市社会福祉協議会長	藤村 松男	公共交通利用者	欠席
鳴門市老人クラブ連合会副会長	前田 ユキ子	公共交通利用者	欠席
徳島バス労働組合委員長	松本 忠宏	公共交通事業者等	欠席
徳島県県土整備部次世代交通課課長補佐	宮島 崇	その他鳴門市が必要と認める者	監事
徳島大学大学院教授	山中 英生	学識経験者	副会長
四国旅客鉄道株式会社徳島企画部長	山本 仁志	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	山本 美恵子	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課課長	木村 圭佑	要綱第8条第5項の規定に基づく出席者	欠席 オブザーバー

委員会概要

1. 開会
2. 議事
(1) 鳴門市地域公共交通計画（素案）について
3. その他
4. 閉会



議 事 要 旨

10 時 00 分 開会

<p>1. 開会 鳴門市 企画総務部 戦略企画課より開会挨拶 ※事務局（鳴門市 企画総務部 戦略企画課）より配布資料の確認</p>	
発言者	要 旨
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第3回鳴門市地域公共交通活性化協議会を開催する。
<p>※事務局より委員等の欠席について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴門市幼小中 PTA 連合会会長 樺山賢太郎が欠席 ・国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所徳島国道出張所長 萱原一朗が欠席 ・鳴門市社会福祉協議会長 藤村松男が欠席 ・鳴門市老人クラブ連合会副会長 前田ユキ子が欠席 ・徳島バス労働組合委員長 松本忠宏が欠席 ・国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課課長（オブザーバー） 木村圭佑が欠席 	
<p>2. 議事 (1) 鳴門市地域公共交通計画（案）について ※事務局より説明（略）</p>	
発言者	要 旨
東委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドの検討を行うということだが、協定路線の徳島バスが現在運行している路線についてもデマンド化を検討されるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の協定路線のデマンド化は非常に難しい。また、現行の車両の状況を踏まえると、バス停を設定することも難しい地域がある中で運行している状況である。そうした中で、バス停まで行けない方をフォローするための仕組みとして、基幹的な路線については残したまま、新たな1つの方策としてデマンド運行を検討している。これから利用者が減っていく中で収支等を見極めながらの判断は出てくるものと考えている。
山中副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的な目標としては年間利用者数や収支等で良いが、それぞれの事業についてモニタリングしていかなければ、どこを改善する必要があるのか見えてこない。それぞれの事業の中でモニタリングしていくための指標をご検討いただき、そのデータを入手する方法についても事業の中に仕組んでほしい。例えば、デマンドの場合は予約回数など、実験的に事業を行う場合にどうすれば継続していけるのか、継続していくべき地域なのかどうかを判断していただきたい。多くのコミュニティバスの事例では、実験的に導入して1年間の利用者数を確認して、継続するの

	<p>か、手法を変えるのかといった検討をルール化して行っている。そのため、モニタリングしていくことは非常に重要なので、その仕掛けをそれぞれの項目に対して検討していただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生のアンケート調査は、現時点で鳴門高校の票のみ集計しているとのことだが、鳴門高校は鳴門駅に近いので JR で来ればそれで終わりバス利用者は殆どいないと思うので、できればバス利用者や駅から離れた場所から通っている方の端末交通がどうなっているか、利用実態を把握して、そういう方のニーズを把握していただきたい。特に、雨の日どうしているか、行きは送ってもらえるが帰りはどうしているのかなど多様な動きがあると思うので、ヒアリングなどでニーズを把握していただきたい。個別にはなるが、需要としては大きいと思う。
宮島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・引田線や鳴門大麻線で導入を検討されている一部区間のデマンド運行とはどのようなやり方なのか。路線バスで一部区間のデマンドを行うとダイヤの乱れが懸念されるが、どこかで導入事例があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、一部区間のデマンド化を検討している路線については、起点と終点での乗降者が多く、その間は比較的乗降者が少ない状況である。そうした中で、当然通常のバス停は設定するが、一部の区間について利用者のニーズからデマンドのご要望があった場合には、待合場所を設けて通常のバス停に追加して立ち寄るといった運行を想定しており、全国では事例があると伺っている。
宮島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドを導入するにあたって、県内のデマンド運行の事例では中山間地域で市民・町民限定で行っていることが多いが、鳴門市は観光客のニーズが高い地域なので、会員登録などで何方でも利用できるように検討して、観光で来られた方でも利用できるようなシステムの導入を期待している。
山中副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・(鳴門市と) 空港との連絡については重要な課題として残っていたと思うが、現在はどのような動きがあるのか。
東委員	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島バスの空港との連携は現在、鳴門藍住線のゆめタウンから徳島空港を経由して鳴門公園へ向かう動きしかないが、この路線はコロナの影響を受けて国庫補助を受けられないくらいの利用者数になっているので様子を見ている状況である。例えば、現状路線を空港から鳴門市の間に短縮し、増便するなど今後検討していく必要があるとは感じているが、運転手不足などもあり、新たな路線を引くことは難しい状況である。もし、路線を増やすのであれば、その代わりにどこかを減便するなどの対応になると思う。
山中副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機はダイヤが乱れる場合があるので、路線バスだと対応できないこ

	とがある。多くの人は路線バスが発車してしまうとどうすることもできなくなるので、その時にどこまで行けば目的地へ向かうバスに乗れるのかという情報提供や空港から国道までのきちんとした路線を用意する、リムジンバスを途中下車すれば乗り換えられる場所があることを案内するなどの対応をしていただきたい。実はすごく不親切な状況だと思うので、改善していただきたい。
谷会長	・それでは、鳴門市地域公共交通計画（素案）につきましては、特に修正意見はないということで承認していただいてもよろしいか。ありがとうございました。
3. その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・JR 四国チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」について ※山本仁志委員より説明(略)	
発言者	要 旨
山中副会長	・きっぷは利用者自身が使用済みにするのか。
山本仁志委員	・あらかじめお買い求めいただいた上で、使用する際に「使用開始」を押していただくと使用中になり、駅へ降りた後に自分でタッチして終了するような形になっている。
山中副会長	・有効期限はあるのか。
山本仁志委員	・ある。現在の時刻も表示されるようになっている。
山中副会長	・JR 四国は乗降データが上手く取れないという課題を抱えておられるので、このアプリを使って乗降データも収集できるようになればよいと思う。スマホを使えば、通過した場所のデータも収集することが出来ると思うので、その点についてもアプリの改良を頑張ってもらえればと思う。
山本仁志委員	・ありがとうございます。
4. 閉会	
発言者	要 旨
谷会長	・以上で本日予定しておりました議事は終了いたしました。事務局から何か連絡事項がございましたらお願いいたします。
事務局	・事務局より今後の日程についてご連絡させていただきます。本日の会でご承認いただいた素案をもって、12月下旬から1月31日にかけてパブリックコメントを予定しております。また、パブリックコメントの結果を受けて、最終の案として第4回協議会を来年の2月上旬から中旬頃に

	<p>予定しております。また、ご案内については改めてさせていただきたいと思ひます。</p>
谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは次回の日程につきましては、只今ご案内がありました通り、来年2月の上旬から中旬にかけてということで改めまして皆様に開催案内をさせていただきたいと思ひます。 ・次回の協議会ではパブリックコメントを受けての最終計画(案)が示されるので、改めてご承認いただくこととなります。どうぞよろしくお願ひいたします。 ・それでは、以上をもちまして第3回鳴門市地域公共交通活性化協議会を閉会とさせていただきたいと思ひます。ありがとうございました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもちまして、令和4年度第3回鳴門市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

11時00分 閉会